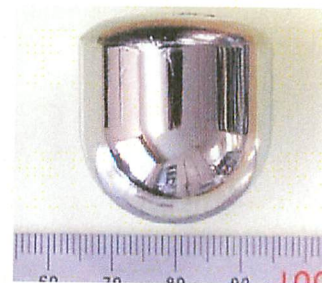
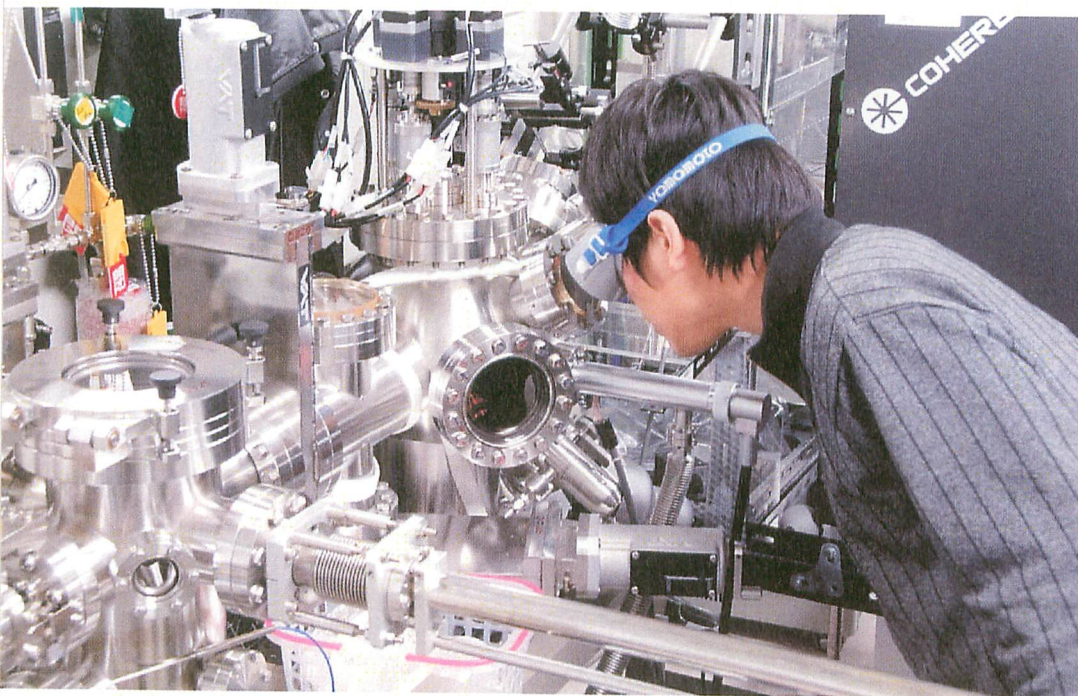


最高峰の「知」が集い、最先端の「知」を創造する国際拠点。

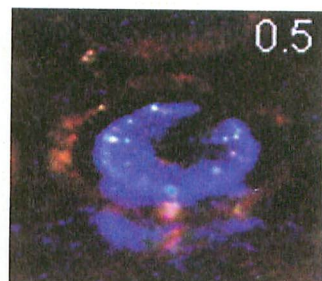
世界をリードする研究を育む環境とシステム

世界トップレベル研究拠点形成促進プログラム(WPI)発足

<http://www.wpi-aimr.tohoku.ac.jp/>



新規 Zr 系バルク金属ガラス (最大直径 30mm)

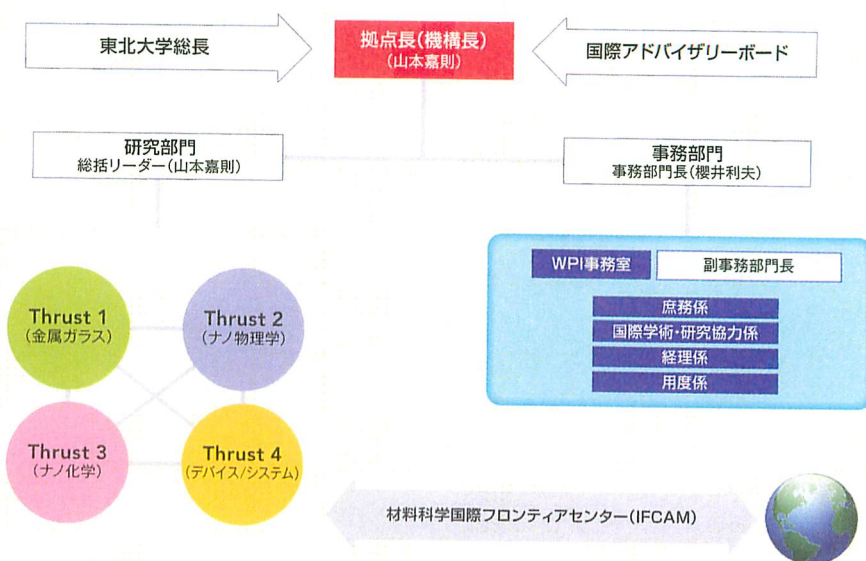


世界初のエコ型発光材料を用いた紫外発光素子

東北大学の「国際高等原子分子材料研究拠点構想」が、文部科学省「世界トップレベル研究拠点形成促進プログラム(WPI)」の全国5拠点的の1つに採択され、2007年10月、「原子分子材料科学高等研究機構(WPI-AIMR)」が発足した。

世界中から第一線の研究者が集い、物理学、化学、材料科学、電子工学・情報工学、精密・機械工学の5分野を融合して研究開発を行う WPI-AIMR は、材料科学の新領域を開拓する国際拠点となる。

異分野の融合は、既成概念を超えた原子分子制御法を実現させ、革新的材料の創出を可能にするだろう。それらを用いたデバイス開発や材



料システムの構築などで、未来の人類社会への貢献を目指している。

金属ガラス分野

構成原子クラスターの制御により金属ガラスの大型化、高強度及び高機能化を実現し、世界唯一無比の非平衡相先端材料の開発を行う。

ナノ化学分野

分子の自己組織化による有機・無機ハイブリッド材料の開発など、材料科学の未踏分野ともいえるソフトマテリアルの開拓を行う。

ナノ物理学分野

世界最先端の計測機器の開発を行い、ナノ材料の物性解明及び新規ナノ物質群の開拓を行う。

デバイスシステム分野

21世紀の情報化社会を支える微小電気機械システムに多様な機能をもたらす材料、新磁性体の探索、先端光通信、超高性能LSIの開発を行う。